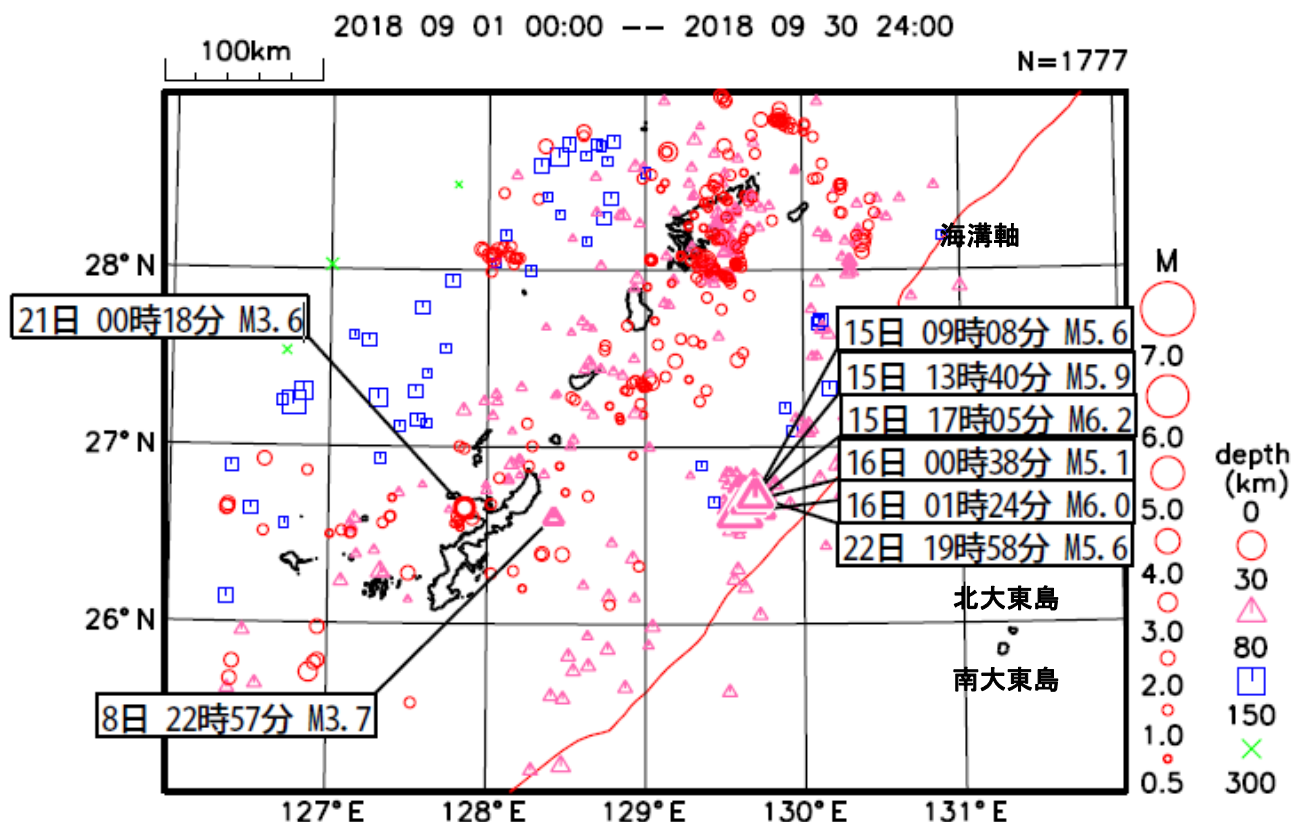


地震活動図

2018年（平成30年）9月

南大東島地方気象台

震央分布図



震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ

N：地震回数（マグニチュード0.5以上の回数です）

【概況】

今期間に、大東島地方及び沖縄本島地方とその周辺（図の範囲内）で観測した地震は1777回（8月571回）で、このうちM4.0以上の地震は27回（8月2回）でした。なお、沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震は8回（8月1回）、大東島地方で震度1以上を観測した地震は3回（8月0回）でした。

15日09時08分に沖縄本島近海で発生した地震（M5.6、深さ44km）により、国頭村、今帰仁村、本部町、鹿児島県天城町で最大震度2を観測したほか、奄美大島から沖縄本島及び北大東島にかけて震度1を観測しました。この地震の震央付近では15日から地震活動が活発となり、15日17時05分に最大規模の地震（M6.2、最大震度1）が発生し、22日までに震度1以上を観測する地震が6回（今回の地震を含む）発生しています。

なお、大東島地方で震度1以上を観測したのは、2017年7月26日に奄美大島近海で発生したM5.8の地震（北大東村で震度2、南大東村で震度1）以来です。

大東島地方、沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の表 (期間: 2018年9月1日~30日)

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2018年09月08日22時57分 沖縄県 震度 1: 名護市豊原,名護市港*,国頭村奥,国頭村辺土名*,本部町役場*	沖縄本島近海	26° 35.8' N	128° 25.2' E	35km	M3.7
2018年09月15日09時08分 沖縄県 震度 2: 国頭村辺土名*,今帰仁村仲宗根*,本部町役場* 震度 1: 名護市港*,国頭村奥,恩納村恩納*,伊平屋村我喜屋,那覇市港町* 沖縄市美里*,読谷村座喜味,中城村当間*,うるま市みどり町* うるま市石川石崎*,南城市知念久手堅*,北大東村黄金山,北大東村中野* 鹿児島県 震度 2: 天城町平土野* 震度 1: 瀬戸内町西古見,瀬戸内町請島*,喜界町滝川,奄美市名瀬港町,奄美市笠利町里* 伊仙町伊仙*,和泊町国頭,和泊町和泊*,知名町瀬利覚,知名町知名* 与論町茶花*	沖縄本島近海	26° 43.0' N	129° 41.5' E	44km	M5.6
2018年09月15日13時40分 沖縄県 震度 1: 名護市港*	沖縄本島近海	26° 42.3' N	129° 40.8' E	55km	M5.9
2018年09月15日17時05分 沖縄県 震度 1: 名護市港*,国頭村奥,国頭村辺土名*,恩納村恩納*,南城市知念久手堅* 南城市佐敷字佐敷*,北大東村黄金山,北大東村中野* 鹿児島県 震度 1: 喜界町滝川,天城町平土野*,伊仙町伊仙*,和泊町国頭,知名町瀬利覚 与論町茶花*	沖縄本島近海	26° 40.2' N	129° 40.6' E	34km	M6.2
2018年09月16日00時38分 沖縄県 震度 1: 名護市港* 鹿児島県 震度 1: 与論町茶花*	沖縄本島近海	26° 41.0' N	129° 39.0' E	53km	M5.1
2018年09月16日01時24分 沖縄県 震度 2: 今帰仁村仲宗根*,恩納村恩納* 震度 1: 名護市宮里,名護市港*,国頭村奥,国頭村辺土名*,本部町役場* うるま市みどり町*,南城市知念久手堅* 鹿児島県 震度 1: 天城町平土野*,伊仙町伊仙*,和泊町国頭,知名町瀬利覚,与論町茶花*	沖縄本島近海	26° 37.4' N	129° 35.6' E	43km	M6.0
2018年09月21日00時18分 沖縄県 震度 2: 今帰仁村仲宗根*,本部町役場* 震度 1: 名護市豊原,名護市港*,恩納村恩納*,伊江村東江前*	沖縄本島近海	26° 39.2' N	127° 51.4' E	11km	M3.6
2018年09月22日19時58分 沖縄県 震度 1: 国頭村辺土名*,北大東村中野* 鹿児島県 震度 1: 喜界町滝川,奄美市名瀬港町,奄美市笠利町里*	沖縄本島近海	26° 42.9' N	129° 41.0' E	48km	M5.6

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

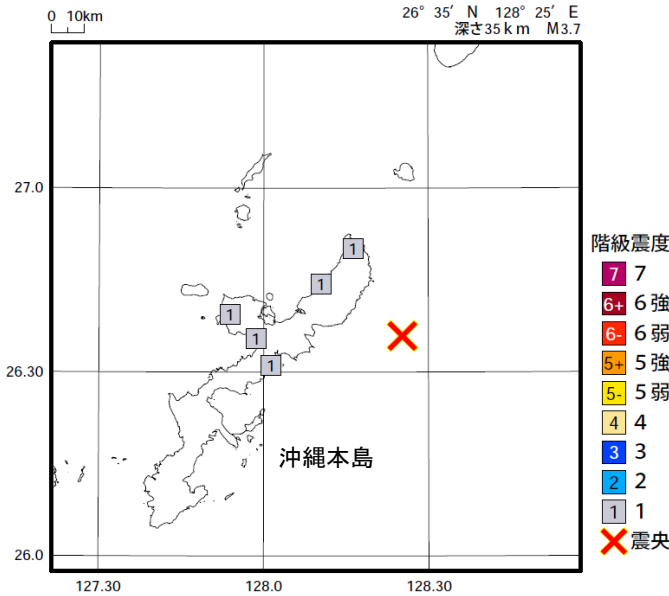
※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

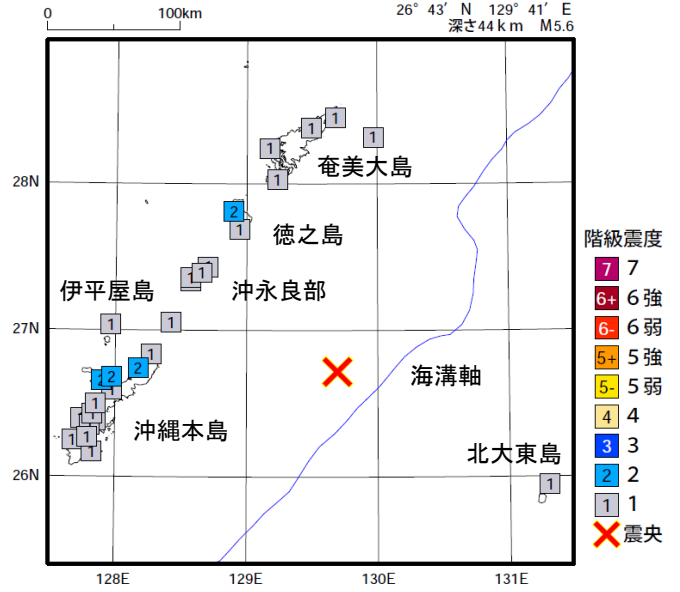
※ データについては精査により、後日修正することがあります。

大東島地方、沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図

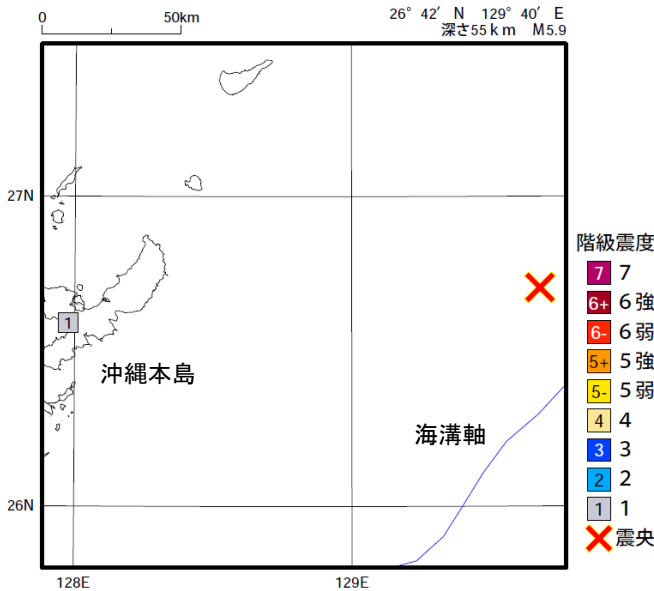
2018年 9月 8日22時57分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



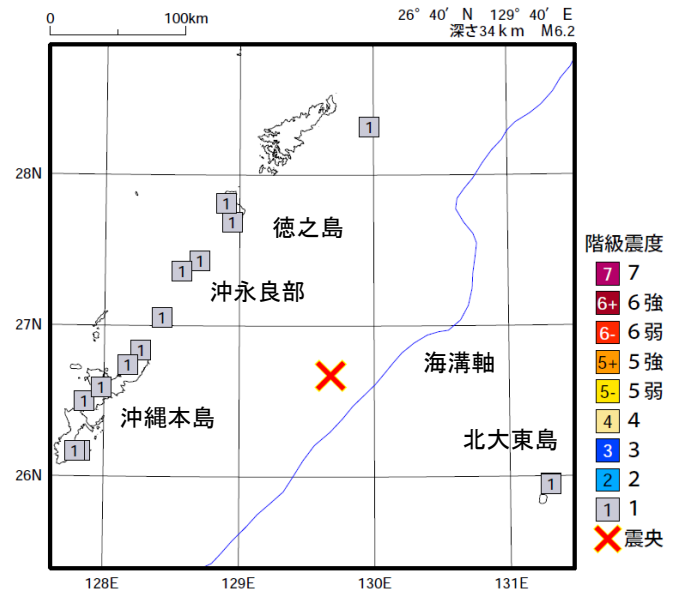
2018年 9月15日09時08分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



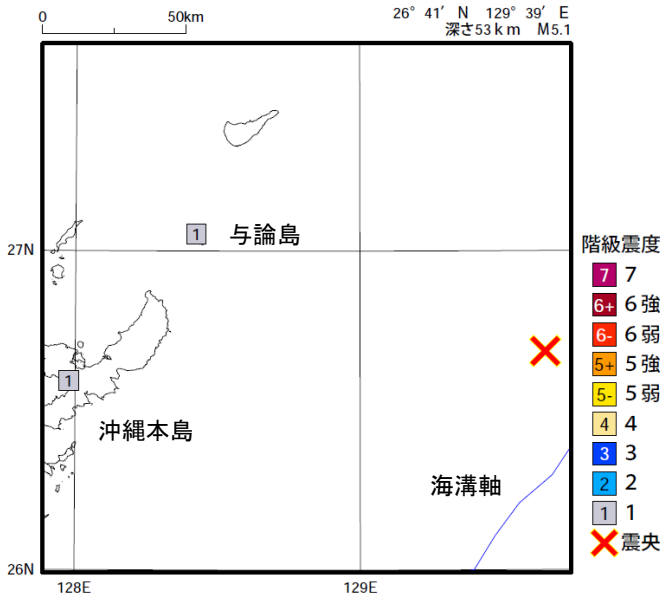
2018年 9月15日13時40分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



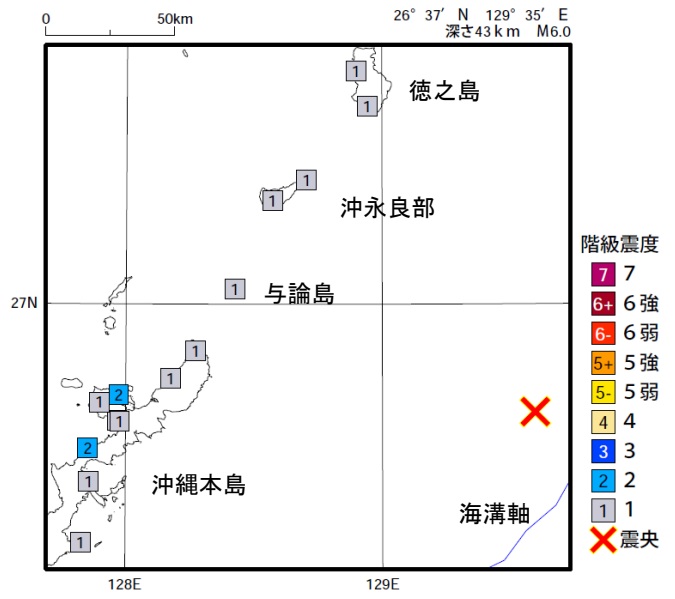
2018年 9月15日17時05分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



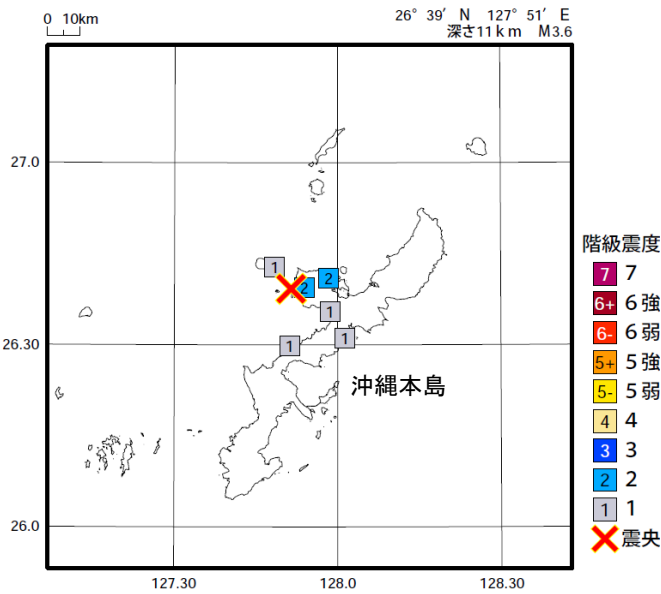
2018年 9月16日00時38分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



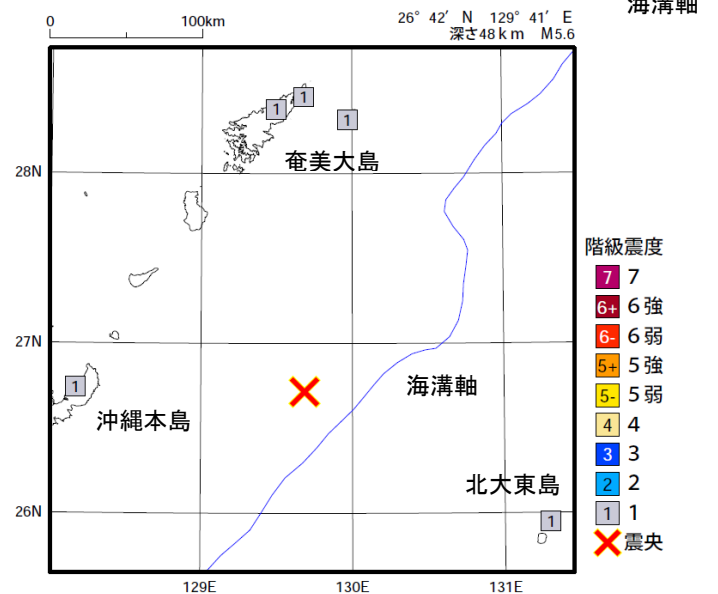
2018年 9月16日01時24分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



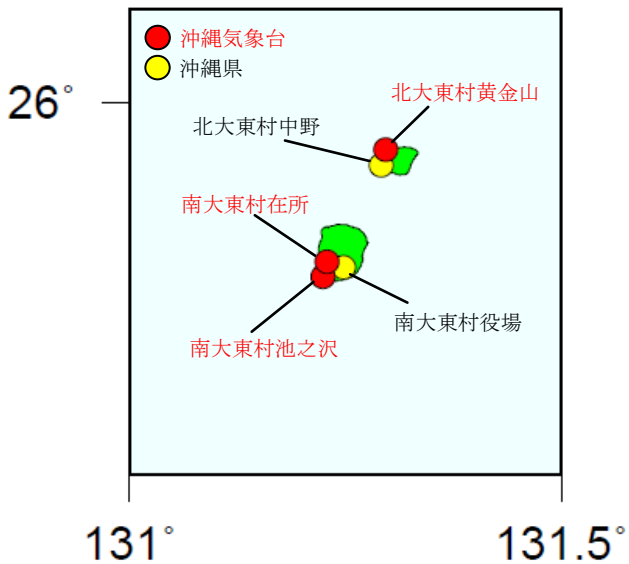
2018年 9月21日00時18分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



2018年 9月22日19時58分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



大東島地方の震度観測点



気象庁
Japan Meteorological Agency

本件に関するお問い合わせ先
(南大東島地方気象台)
電話 09802-2-2006
<https://www.jma-net.go.jp/daitou/>

地震から身を守るために 緊急地震速報を活用しましょう！

緊急地震速報とは、地震の発生直後に、強い揺れが来る地域や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまではわずかな時間しかありません。場合によっては強い揺れの到達に間に合わないこともあります。身を守るための行動が素早くできるよう、日頃から訓練しておきましょう。

緊急地震速報を見聞きしたら、どう行動する？

緊急地震速報を見聞きした場合は、「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。周囲の状況に応じて、いざという時の行動を考えておきましょう。

●家庭では



頭を守り、丈夫な机の下など安全な場所に避難する

●屋外では



ブロック塀等の倒壊や落下物に注意し、危険な場所から離れる

●人が大勢いる施設では



低い姿勢をとり体を安定させ、あわてず係員の指示に従う

●運転中は



ハザードランプを点灯して周囲の車に注意を促し、緩やかに減速する

●バスやモノレールに乗車中は



つり革や手すりにつかまり強い揺れや急ブレーキに備える

●エレベーターでは



最寄の階でエレベーターを停止させ、すぐに降りる

気象庁では11月1日（木）に緊急地震速報の訓練を実施します

気象庁では、11月1日（木）10時00分頃に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します

URL：<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/2018/02/kunren.html>

沖縄県では11月5日（月）に地震・津波避難訓練を実施します

11月5日（月）10時00分から、大規模地震・津波の発生を想定した訓練が行われます。訓練に参加して、いつ起きるか分からない地震・津波に備えましょう（参加は団体単位です）。

・平成30年度沖縄県広域地震・津波避難訓練について（沖縄県ホームページ）

URL：<https://www.pref.okinawa.jp/site/chiijiko/bosai/iishintsunamihinankunren.html>



地震・津波に関する情報は
沖縄气象台ホームページまで
<https://www.jma-net.go.jp/okinawa/index.html>

沖縄气象台

検索

